

濱田 亨

2007.4.18 wed. ▶ 5.20 sun.

展
hamada toru

変貌の軌跡

休館日／月・火曜日(4月30日は開館)
開館時間／午前9:30～午後5:00(入館は午後4:45まで)
入場料／一般800円(前売600円)、高大生500円、
小中生300円、未就学児無料

主 催／ ミウラート・ヴィレッジ(三浦美術館)
〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1
TEL089-978-6838・FAX089-978-0323
<http://www.miuraz.co.jp/miurart>

共 催／ 株式会社ミウラ

後 援／ 愛媛県教育委員会、松山市教育委員会、愛媛新聞社、
南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

濱田亨展 ～変貌の軌跡～

この度、愛媛県出身でパリ在住の芸術家、濱田亨氏の作品展「変貌の軌跡」を開催させていただくことになりました。

濱田氏は1972年、19歳で単身フランスへ渡り、すぐにイタリアで彫刻の勉強をされ、フランスに移り絵画制作に力を注がれたと聞き及しております。片道切符での渡欧は、ご本人は自信に溢れ、運命を信じていたと言われていますが、言うに言われぬ不安を抱えてのまさしく船出であつたろうと推測します。その決断力と行動力の源は芸術に対する情熱だったのでしょうか。その年代を想定したとしても、私たちの感覚では現実感に欠ける大冒険に思えますが皆様はいかがでしょうか。その意味でも氏のチャレンジ精神には敬服いたします。

2004年の夏、当館で開催いたしました企画展「岡本太郎展—永遠の挑戦」の芸術家、岡本太郎氏も、確か19歳の時パリに渡り芸術家の道を歩み始めた人だったと思いますが、経済的な環境は濱田氏の場合、岡本太郎氏とは格段に違ったものだったようです。しかし、岡本太郎氏がそうであつたように、日本人とは違う「ものの見方」を身につけられたという意味では共通した域に達したのではないのでしょうか。それにしても大きい夢と自信だけしか持たず、体一つで飛び込んでいった日本の若者を、ヨーロッパの人達は温かく見守ってくれたということのようですが、それには濱田氏の芸術家としての才能と努力、そしてご本人が生まれ持っている強運があつたのではないかと思います。そのことは、イタリアで彫刻を勉強し始めて2年後に、早くも（ご本人は当然と言われるかも知れませんが）ベルギーのコレクターの目に留まり、作品が売れ始めたことから証明されていると思われます。

いずれにせよ自らの才能を信じ、ポジティブにものごとを捉えて芸術家の道を歩んで来られた氏の生き様は称賛に値するものと思います。

今展では、氏の愛媛、東京時代のものからイタリア、フランスで制作された作品を展示させていただいております。

愛媛の芸術を志す若い人たちにとっては、同じ道の大先輩としても大きい存在であろうかと思えます。一人でも多くの芸術家の卵の皆さんにもお越しいただき、ご覧いただければ願っております。

この企画展開催に際し、作品を快くお貸しいただいた皆様、そして実行委員として展示作品の借受けなどにご尽力いただいたトゥアーズギャラリー殿、ベイスギャラリー殿に心よりお礼申し上げます。

館長 白石 省三



S-2-1-e



T-4-5



4-6



5-F-4



4-63

関連イベント

座談会

日時：4月22日(日)午後1:00～
場所：ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館)

片道切符でヨーロッパへ船出した作家の今日に至るまでの芸術家人生を聞いていただき、芸術家として生きるために何が必要かを知ることができる良い機会になると思います。

※ 参加希望の方は、電話・メール・FAXでお申し込みください。
※ 定員になり次第、終了させていただきます。
※ 入場料のみでご参加いただけます。

展覧会予告
アントニ・タピエス展
川島猛展



駐車場：30台・臨時駐車場(三浦工業(株)福角駐車場)がご利用になれます。

※ 駐車台数に限りがございますので、なるべく公共の交通機関等をご利用ください。

場 所：◆ JR松山駅より市内電車にて松山市駅へ伊予鉄バス 北条行き「内宮バス停」下車徒歩約10分
◆ 松山空港より車で約30分

MIURART VILLAGE
MIURART

ミウラート・ヴィレツジ(三浦美術館)

〒799-2651 愛媛県松山市堀江町1165-1

TEL 089-978-6838・FAX 089-978-0323

<http://www.miuraz.co.jp/miurart>

fvbm2360@mb.infoweb.ne.jp